

## 学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和島東高等学校 全日制・定時制  
学校番号 ( 40 )

評価実施日		令和3年2月17日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	佐々木信幸	学校評議員、伊予銀行 宇和島支店長	
	一色 敏徳	学校評議員、愛媛新聞社 南予支社長	
	高田 哲也	学校評議員株式会社 高田商店 代表取締役	
	森藤 博明	学校評議員、愛媛県退職公務員連盟宇和島・鬼北地区副支部長	
	田中 繁幸	ジブラルタ生命保険株式会社 営業次長	
	石止伊佐美	宇和島市立城北中学校長	
	松島 陽子	P T A会長	
	芳谷 圭一	教育振興会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 生徒の自己実現</p> <p>ア わかる授業の実践について、教師も生徒も概ね高い評価であることは日頃の実践の成果であると思われる。多忙にも係わらず研修・研究授業への年間参加回数が7.5回であることは驚きに値し、真摯な取組が生徒の授業満足度につながっているように思われる。今後も教員の指導力・資質の向上に向けた取組を期待したい。</p> <p>イ ICTにかかるインフラは整ってきたようであるが、様々な課題(家庭学習を含む)や取組・作業にICTを最大限活用してほしい。スキルの高まりとともに職務の効率化が図られることで、生徒と向き合う時間の捻出にもつながると思われる。</p> <p>ウ SSHの取組は充実しており、大変すばらしい活動である。ぜひ、今後は地域貢献に向けて小・中学校との連携や情報発信を積極的に行ってほしい。商業科の1級検定3種目取得率が40%未満であった結果については原因を究明し、対策をお願いしたい。</p> <p>(2) 心身健康で豊かな心</p> <p>ア 挨拶の項目が教職員、生徒とも評価が向上していることは日頃の地道な啓発の結果であり、今後も継続をしてほしい。挨拶も含め、基本的な生活習慣の育成は学校教育の根幹でもある。引き続きすべての教職員がカウンセリングマインドを持って指導に当たり、健全な生徒の育成に取り組んでほしい。</p> <p>イ 人権・同和教育は社会生活を営む上で大変重要である。その取組について、校内体制が構築できていることが生徒に良い影響を与えているようである。今後も「相手を思いやることができる」、「相手の立場に立った言動がとれる」生徒の育成をお願いしたい。</p>	<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 生徒の自己実現</p> <p>ア 生徒の夢を叶え自己実現を図るためには、教育方針の共通理解と具体的な実践が重要である。生徒の多様な能力を更に伸ばし、高めていくことは我々教職員の取組にかかっている。3年間を見通した教育課程のもと、今後も「わかる授業」の実践と「わかる喜びが実感できる授業」への工夫・改善に努め、生徒の学力向上に寄与したい。</p> <p>イ 来年度、県から生徒一人に一台の端末が整備される。さらにマイクロソフトアカウントも配布され、オフィス365を全職員と全生徒が使用可能になる。これらを活用して授業や家庭学習を効果的に行うための教職員研修や生徒へのオリエンテーションを早期に実施する予定である。特に、遠隔授業や課題の指示ができるように、必要なスキルを養いたい。</p> <p>ウ SSH事業は2期3年目を終えたところである。今年度はコロナ禍の中、大学や関東地方、愛媛大学での研修や地域でのサイエンスイベント等、実施できなかったものが多かったため、オンラインでの開催等を工夫して取り組みたい。また、SNS等を用いてノ情報発信にも努めたい。 商業科の1級取得率が低かった原因には、新型コロナウイルスの影響が考えられる。検定試験対策の補習等が自宅待機のため、十分な時間がとれなかったことが大きく影響した。来年度は補習等の時間を確保し、合格率を高めたい。</p> <p>(2) 心身健康で豊かな心</p> <p>ア 挨拶を通してコミュニケーションが円滑になったり、雰囲気が悪くなったりするように、さらに地道な啓発を続けていきたい。教職員から手本を示しながら、学校全体の雰囲気を良くしていくことで、生徒たちが教職員に相談しやすい雰囲気の学校を作っていきたい。</p> <p>イ 教育活動のあらゆる場面で人権・同和教育はなされるべきであり、その重要さを常に考えて本校の人権・同和教育を推進している。今後もより一層全教職員の共通認識が図れるよう研修会等のあり方を工夫し、人権・同和教育ホームルーム活動(公開授業)や人権委員会活動の充実を図っていきたい。</p>

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>ウ 読書は精神的な不安を解消できるものだと思うので、読書のきっかけづくりに一層取り組んでほしい。図書館では従来の書籍テーマによる分類のみならず、生徒の気持ちや感情に即して、読みたい本が検索できる分類も検討してほしい。また、読んでほしい本と読みたい本との兼ね合いに配慮しながら蔵書の更新も行ってほしい。</p> <p>(3) 魅力ある特別活動</p> <p>ア コロナ禍の中、特別活動は大きな影響があり、その活動は教職員や生徒に大きな負担を与えたものと思う。その中で陸上部の全国高校駅伝出場等大変素晴らしい成果を上げていることは、十分評価できる。学校生活を潤わせ、生徒に夢や希望を与えるためにも常に創意工夫をし、単に従来の継続だけでなくイノベーションを發揮した活動に期待したい。</p> <p>イ 新型コロナウイルス感染防止対策を取りながらできる限りの行事が開催されたと思う。感染収束後には地域に開かれた学校行事の開催を再開してほしい。身近な企業でも国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の17目標に即した取組をしている。環境に関するものや人間に関するものなど様々であるが、ぜひSDGsについても理解を深める校外活動を取り入れてはどうだろうか。</p> <p>2 定時制について</p> <p>授業満足度やいじめ防止の取組などから一人ひとりにきめの細かい指導がなされていることが窺える。進路が概ね達成できていることも評価できる。多様な生徒が在籍していると考えられるが、今後とも個々に対応した指導により自己実現を支援していただきたい。困難なことを抱える生徒にとって定時制は大変重要な役割のある学校と考える。</p> <p>3 学校運営について</p> <p>気軽に相談しあえる人間関係が「-0.3」であることが気に掛かる。コロナや多忙による影響、キーマンの不在などあらゆる意思疎通の低下の原因を精査し、風通しの良い楽しい職場作りを教職員全体で考える必要もある。教育目標など教職員に徹底されている項目が向上していることはよい傾向であり、教職員が一丸となって目標の達成に努力し生徒に反映していただきたい。今後とも校長先生を中心に啓発・実践をして素晴らしい学校となることを切に願っている。</p>	<p>ウ コロナ禍の閉そく感を和らげる意味においても、青年期の読書習慣は大切なものであると再認識している。図書委員会の活動の一環として、図書館特設コーナーや図書館通信の内容を見直しているところである。生徒の読書意欲につながる働きかけを模索していきたい。来年度は、「宇中文庫読書デー」も設ける予定である。司書の担当者を中心に、新着図書の選定・配架にも腐心していただいている。より多くの生徒が「立ち寄る」図書館を目指したい。</p> <p>(3) 魅力ある特別活動</p> <p>ア 部活動の取組や活躍が学校や地域の活性化につながるよう、更なる高みを目指したい。その中で地域社会との部活動を通じた交流も行っていけるよう新たな施策を検討したい。また、令和4年度には四国インターハイの卓球競技が地元で開催される。学校をあげて最高の舞台づくりへのかかわりと今まで以上に地域との交流イベントや地域への発信など、生徒や地域の方々に夢や希望、満足感が感じられる機会をつくることを目指したい。</p> <p>イ 本校には伝統のある校内ボートレース大会があるが、2年前は豪雨災害、今年度はコロナ禍のため実施できなかった。ぜひ、来年度は実施したいと考えている。その中でも新たな取組として会場の変更をはじめ、新たな地域との連携と継続的な環境保全活動としても位置づけた学校行事として実施したいと考えている。自分たちの住む地域の良さを理解することや、守ることを通して新たな伝統と愛校心を育んでいきたい。</p> <p>2 定時制について</p> <p>定時制では、全ての教育活動において、生徒一人一人の状況に応じ、きめ細かな指導に努めている。今後の方策としては、多様な生徒への個別対応は継続しつつ、生徒の自己実現を支援するため、特に高校卒業後の進路を見据え目標を持たせることで意欲を喚起し、日々の教育活動において資質・能力を高める指導を計画的に行っていきたい。また、今回B評価以下の項目については、具体的目標が達成できなかった要因を分析し、改善することで生徒のよりよい育成につなげていきたい。</p> <p>3 学校運営について</p> <p>教職員の共通理解のもと、生徒・保護者・地域から信頼される魅力ある学校づくりに取り組んでいきたい。教職員がやりがいをもって職務に取り組めるように、リフレッシュデーの導入や、管理職に気軽相談できるよう配慮をしているところではあるが、まだまだ不十分であるといえる。今後もコロナ禍による影響は考えられるが、できることから働き方改革を推進するとともに、風通しの良い職場環境づくりに努めていきたい。</p>